

「いいだ未来デザイン2028」進行管理の考え方

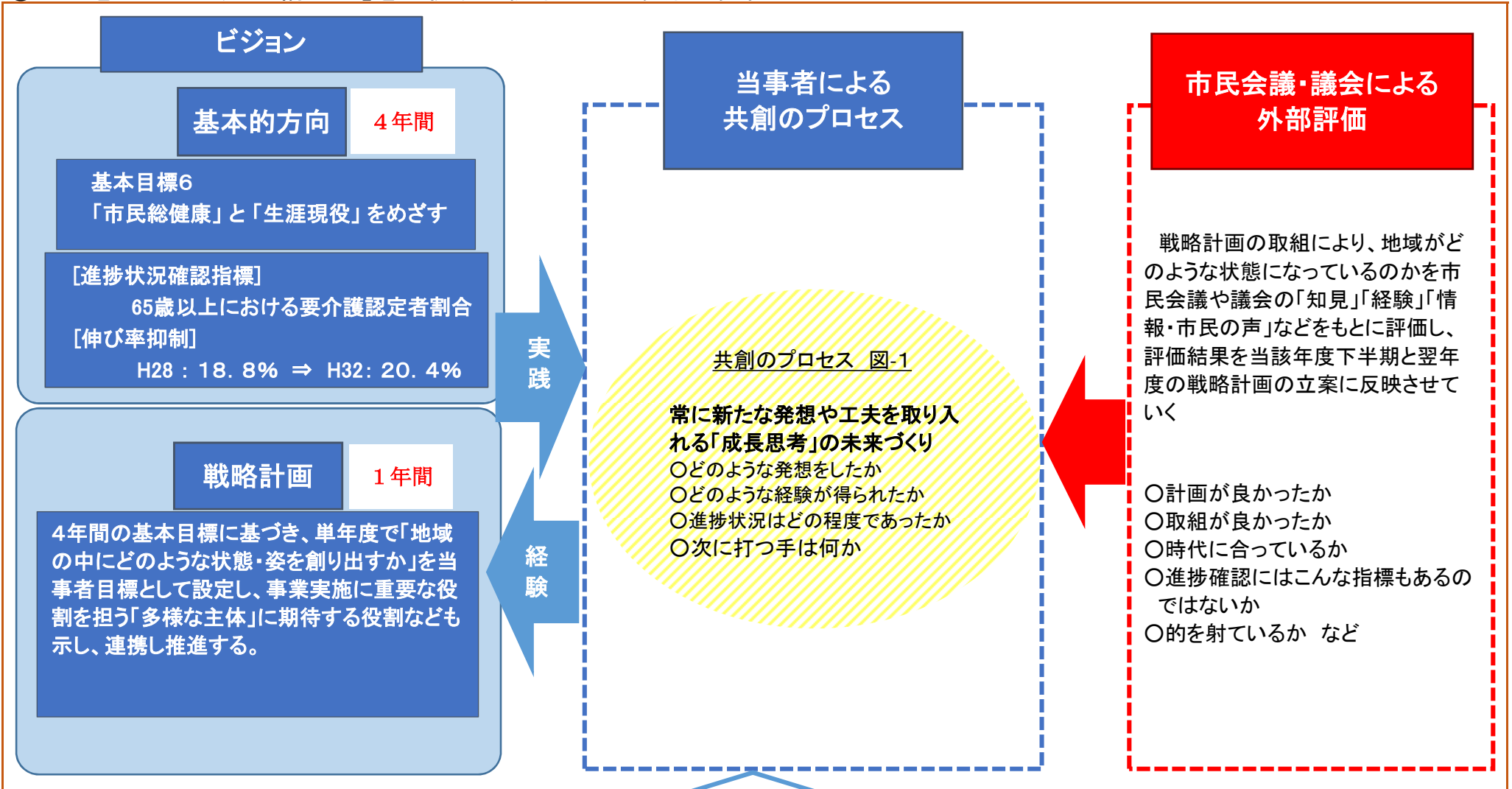
時代の変化に対応する
「工夫の改革」や「百人の一步」による
成長思考の未来づくり

飯田市総合政策部

いいだ未来デザイン2028の概念

1 《いいだ未来デザイン2028》の特長	構造上の特長	2 特長を活かす進行管理	そのためのポイント
<p>地域のビジョン実現に向けて市民、地域、事業者、団体、NPO、行政など、それぞれの立場で「飯田の未来づくり」にチャレンジしていくための指針</p> <p>(1) 変化の激しい時代だからこそ、みんなでつくりたい「くらしの姿」「まちの姿」をビジョンとして描こう</p> <p>(2) ビジョン実現に向けて「何をすべきか」をみんなで考えよう</p> <p>(3) ビジョン実現に向けてみんなで考えたことをみんなでやってみよう</p>	<p>構造上の特長</p> <p>リニアがもたらす大交流時代に「くらし豊かなまち」をデザインする</p> <p>合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台</p> <p>ビジョン</p> <p>状態・姿</p> <p>基本目標(4年単位)</p> <p>4年単位で戦略的重点的に取り組むテーマを基本目標として設定</p> <p>状態・姿</p> <p>戦略計画(単年度)</p> <p>状態・姿</p> <p>基本目標に基づいて毎年分野横断的に戦略的かつ重点的に取り組むもの(当事者目標を設定)</p>	<p>進行管理を通じて「工夫の改革」や「百人の一步」が起こるようにする</p> <p>毎年『戦略』を立てながらビジョン実現に向かう</p> <p>工夫の改革</p> <p>百人の一步</p> <p>＜戦略計画＞</p> <p>①地域の中に、どのような状態・姿を創り出したいかをイメージする。</p> <p>②そのために「何をすべきか」を話し合う。</p> <p>③実践する。</p> <p>実践</p> <p>工夫</p> <p>実践</p>	<p>そのためのポイント</p> <p>① 未来をデザインする「構想力」を重視する戦略計画の実施と見直し</p> <p>② 戦略計画等の策定と連動した事務事業の立案、予算編成等</p> <p>③ 振り返りに費やしていた多くの時間と労力を新たな戦略策定と実践に投入</p>

①未来をデザインする「構想力」を重視する戦略計画の実施と見直し



～合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台～

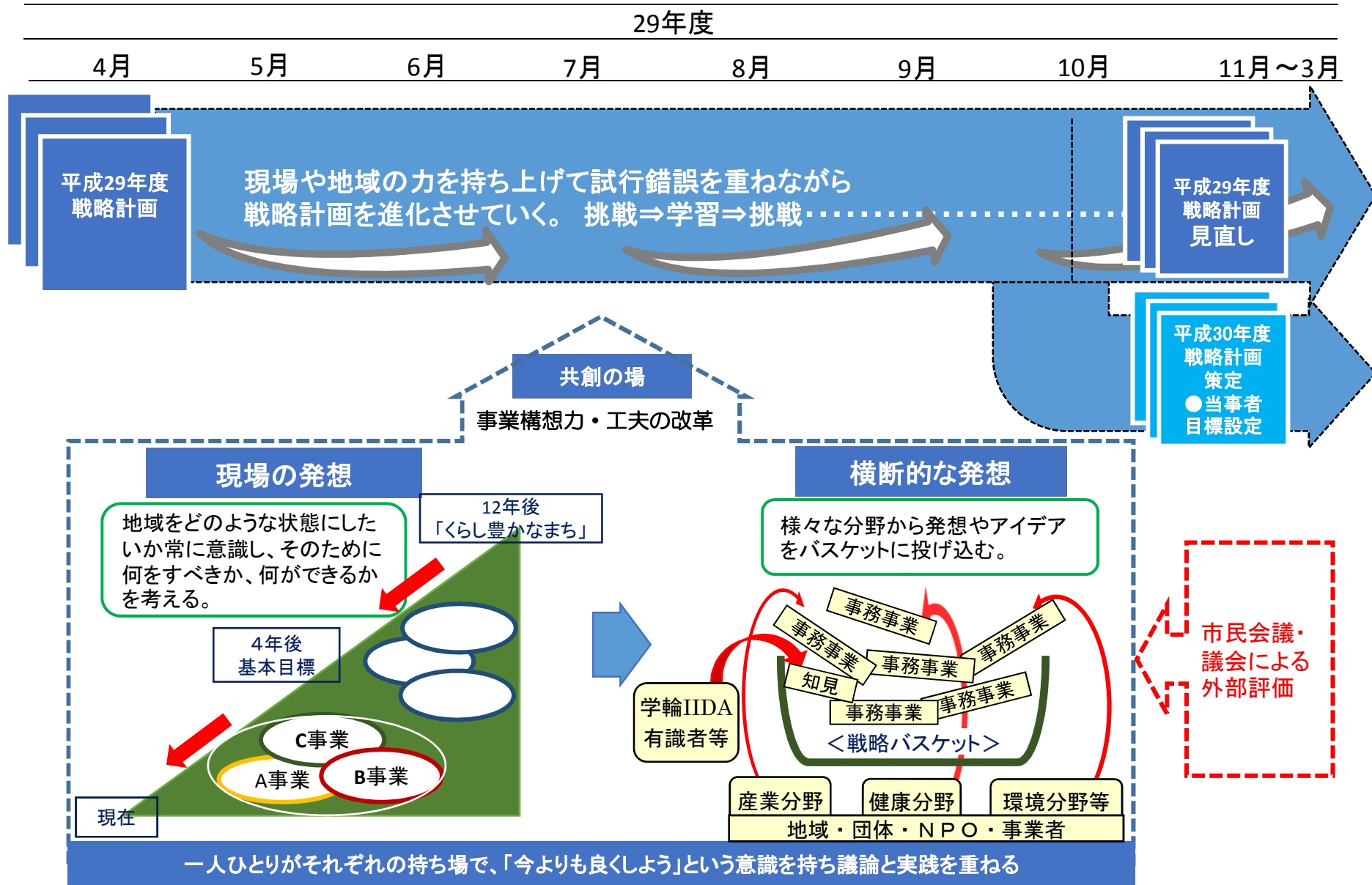
市民・団体・地域・事業者・NPO・行政等

工夫の改革

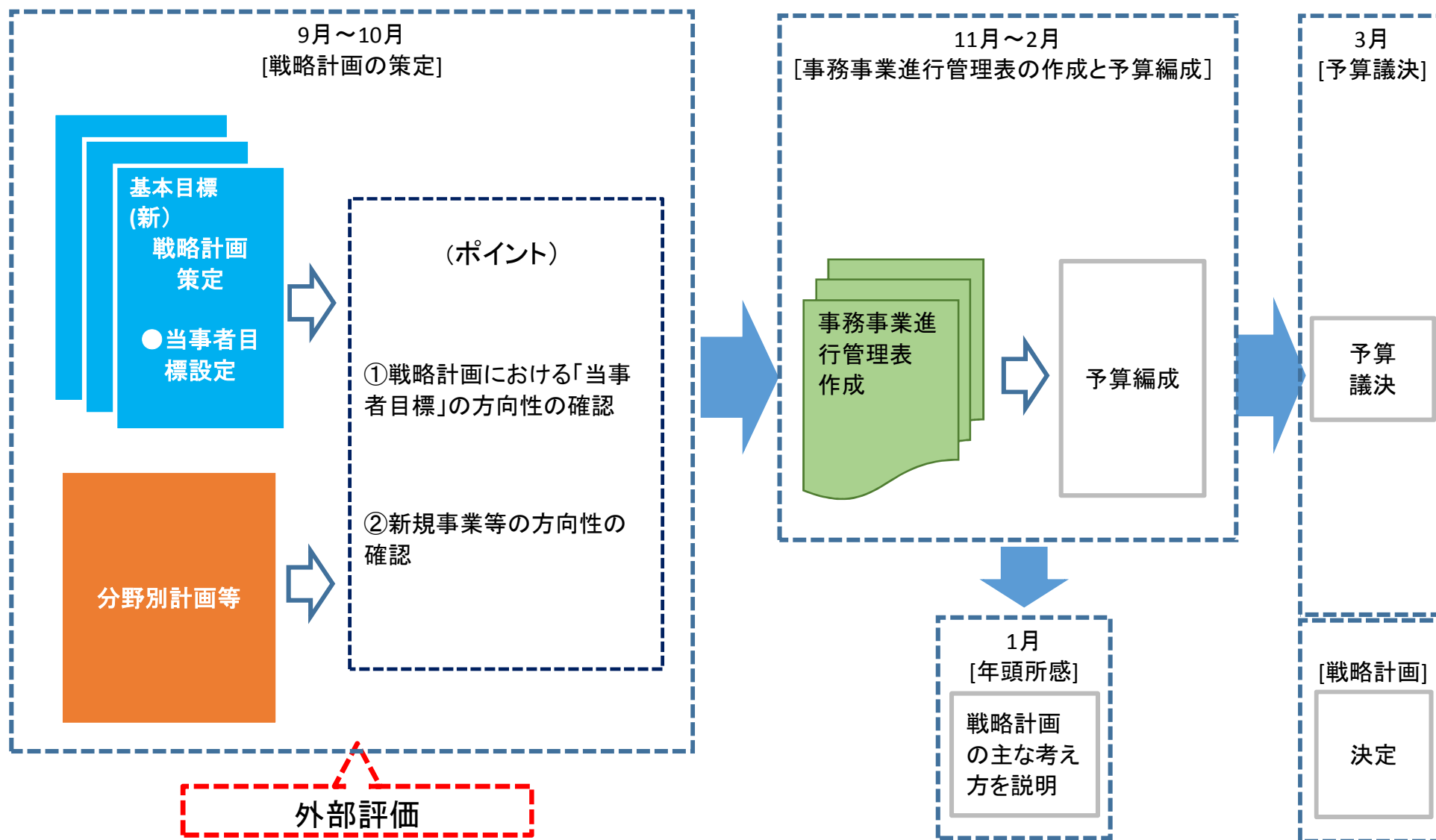
百人による一歩

図-1 当事者による共創のプロセス

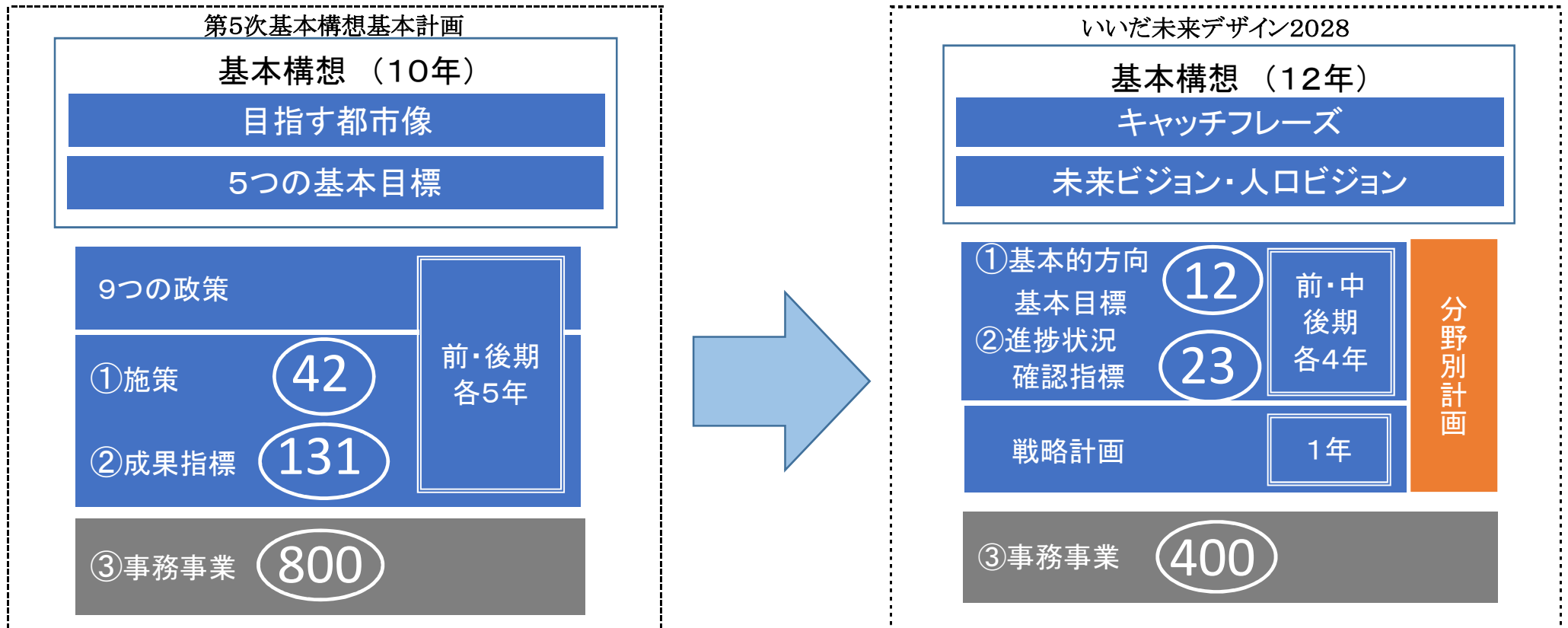
常に新たな発想や工夫を取り入れる「成長思考」の未来づくり



②戦略計画等の策定と連動した事務事業の立案、予算編成等



③振り返りに費やしていた多くの時間と労力を新たな戦略策定と実践に投入
第5次計画との体系比較



市役所の仕事の仕方改革
(飯田市行財政改革大綱)

事務の減量化
類似事業をグループ化し、評価対象を絞り込み、振り返りに費やしていた多くの時間と労力を新たな発想を生む取組に投入できる

- ①42施策 → 12基本目標
- ②131指標(固定) → 23指標(柔軟)
- ③800事務事業 → 400事務事業

市役所内部のマネジメントシステムの効率化
行政評価、組織目標、ISO、予算・決算といった庁内マネジメントシステムを統合することで事務の所要時間を縮減する

- ①事務事業進行管理表 約670時間
- ②ISO関連 約3,300時間 → 2,100時間 約1,200時間